

検診を受けて

子宮頸がんを予防!

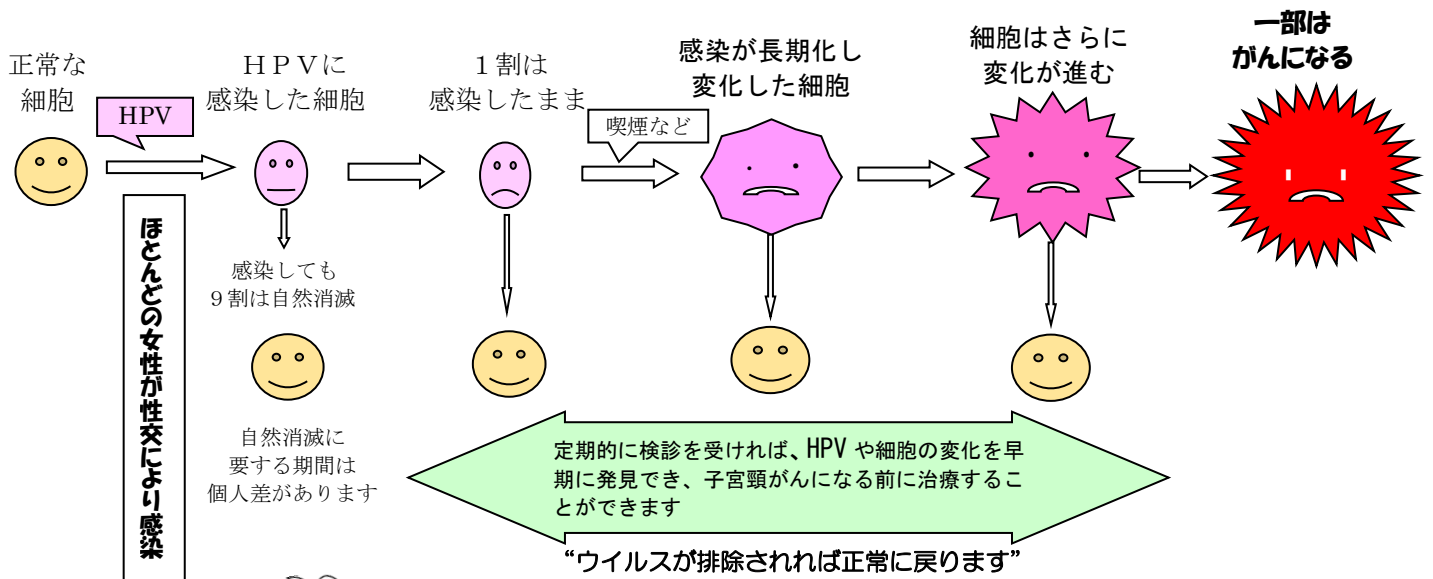
子宮頸がん
20~30代に
急増中!!



え?若いひとでも
がんになるの?

子宮頸がんの原因である HPV (ヒト・パピローマ・ウイルス) は性交経験のある女性なら、一度はかかるありふれたウイルスです。感染しても多くの場合は自然消滅しますが、約1割は感染が長期化し、がんになる可能性があります。

正常な細胞が“子宮頸がん”になるまでの経過



子宮頸がん検診はどんな検査をするの?

○細胞診検査

子宮の入り口の表面から取った細胞を顕微鏡で調べる検査です。綿棒くらいの小さな道具で、軽くこすって細胞を採取するので、検査は1分程度で終わります。痛みもほとんどありません。

○HPV検査

細胞診の残り材料(細胞)でウイルスが消えたかどうかを調べます。

★細胞診検査とHPV検査を一緒に受けると、非常に精度が高く、子宮頸がんになる前に発見・治療できます。

総社市はHPV検査の費用助成をしています!

○HPV検査

「HPV 核酸検出」または「HPV 核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)」

○助成額

2600円

○対象者

妊娠11週以内に、妊婦健康診査1回目の子宮がん検診に併用して受ける妊婦

○助成方法

・市内委託医療機関で受診の場合・・・助成額を差し引いた金額を支払う

・市外医療機関の場合・・・医療機関に支払った後、こども課へ請求(償還給付)

※領収書、HPV検査受診券(検査結果を記載したもの)、振込口座が確認できるもの(通帳等)が必要

※受診日から3年を経過したものについては請求できません。

※受診日に、総社市民であることが必須です。転出された場合は対象となりません。

※疾病による検査は対象外です(医療保険適用となる場合は対象外です)。

① 不正出血がある場合は早めに医療機関へ受診しましょう。

がん検診で要精密検査と診断された方は必ず医療機関で精密検査を受けましょう。

【問い合わせ先】総社市役所 こども課 母子保健係 TEL: 0866-92-8261